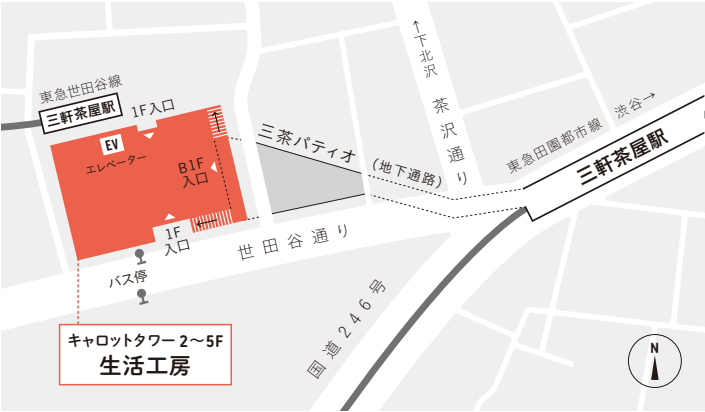


施設案内

5F	セミナールームA・B 生活工房受付	音響・映像設備を備え、講習会や会議を行うことができます(定員48名)。A・Bの仕切りを外せば最大120名収容(机使用時は108名)。	 
4F	ワークショップルームA・B	「A」はキッチンや調理器具などを備えた“ものづくり”スペース。「B」は可動パネルにより多様な展示に対応したスペース。	 
3F	生活工房ギャラリー 市民活動支援コーナー	生活や文化に関する様々なデザインを独自の視点で提案・発信する展示スペース。新たな発見が暮らしを彩ります。	 
2F	八角堂	特設ジオラマを使って映像作品を上映。上映スケジュールはホームページでご確認下さい。	

- トイレにはおむつ交換台があります。個室にチャイルドシートはありません。
 - 5Fには授乳室、3Fの多目的トイレにはオストメイト用設備を備えています。
- 施設のご利用について 詳しくは生活工房ホームページをご覧ください。

アクセス

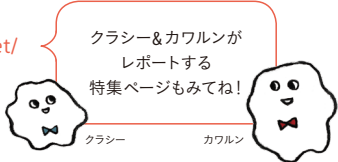


- 東急田園都市線「三軒茶屋」駅 三茶パティオ口徒歩5分
地下通路よりB1F入口に入り、キャロットタワー内のエレベーターをご利用ください。
- 東急世田谷線「三軒茶屋」駅 直結 ●東急・小田急バス「三軒茶屋」停留所そば

お問い合わせ

(公財) せたがや文化財団 世田谷文化生活情報センター 生活工房
〒154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1 キャロットタワー
TEL 03-5432-1543 / FAX 03-5432-1559

website <http://www.setagaya-ldc.net/>
twitter @setagaya_ldc
facebook 生活工房



Design: Nakazo Katayama



時代を映す「三種の神器」
と呼ばれた家電製品たち

私たちにあってあたりまえの「家電のある生活」。さかのぼれば1950年代の高度経済成長期以降、冷蔵庫・洗濯機などの白物家電、テレビ・オーディオなどの黒物家電が暮らしのなかに登場して、私たちの家事や娯楽のスタイルは、家電の進化とともに大きく変化してきました。

20周年を迎えた生活工房は、衣食住の“暮らしのデザイン”を問い、見つめ続け、生活文化にまつわる事業を展開してきました。本展では、家電誕生から60余年の暮らしを振り返りながら、各時代を象徴する「三種の神器」と呼ばれた家電製品約20点を展示して、その当時の生活シーンを紹介します。

また、子どもたちが未来のまちや家電を描いた、夏のこどもワークショップ2017「あったらいいな!の未来をデザインしよう!」の参加者が制作した作品を展示。関連プログラムでは、蓄電池システムを応用して進化する電気自動車のトークイベントなども開催します。

家電の役割やデザインは、私たちの希望や価値観と響き合いながら、これからどのように変化してゆくのでしょうか。展覧会を通じて「あなたの未来の、家電のある生活」について考えてみてはいかがでしょうか。

EXHIBITION

※関連プログラムは中面をご覧ください

《生活工房20周年記念》
家電のある生活展 ―暮らしのデザインミュージアム2017

9.18(月・祝) → 10.15(日) 月曜休み(9.18、10.9の祝日はのぞく)
11:00〜19:00 入場無料 会場: ワークショップルームA・B / 生活工房ギャラリー



撮影: 佐藤雅彦

山々に踊る、美しき衣装

世界の山岳地に住む人々の暮らしを紹介する「クライム・エブリ・マウンテン」シリーズ。第1弾として、中国西南部の貴州省に多く暮らしているミャオ族(苗族)を取り上げます。

「天に三日の晴れ間なく、地に三里の平野なし」といわれるこの地域では、山また山が連なり、南からの湿った空気が山にぶつかって毎日のように雲が発生します。この山々の斜面を切りひらいて棚田をつくり、稲作を中心として暮らしてきたミャオ族は、美しい民族衣装で知られています。

農耕の合間を縫って糸を紡ぎ、織り、染め、さらに繊細な刺繍を施す……ミャオの家庭では母から娘へと、その技術が伝え継がれてきました。子どもを背負うための「背帯」は大切な嫁入り道具のひとつで、「布目から魔が入る」という教えもあり、特に念入りの刺繍が施されます。そのモチーフのひとつひとつにも、文字を持たなかったミャオの思想や信仰、誇りと歴史が表れています。

11月中旬、ミャオ族の村々では、穀物の刈り入れが終わった村から順に正月を迎えます(苗年節)。ミャオ族にとっての新たな年が始まるこの時期に、その刺繍と1年間の暮らしを紹介する展覧会を開催します。愛知県常滑市にある苗族刺繍博物館所蔵の民族衣装約60点をはじめ、映像資料の展示や関連プログラムもあわせて、紹介します。

EXHIBITION

※関連プログラムは中面をご覧ください

クライム・エブリ・マウンテン vol.1
「ミャオ族の刺繍と暮らし」展

11.11(土) → 12.10(日) 月曜休み 11:00〜19:00 入場無料
会場: ワークショップルームB / 生活工房ギャラリー

2017 EVENT GUIDE

みる×しる×つくる＝暮らしがかわる。



世田谷文化生活情報センター
生活工房
Lifestyle Design Center

《生活工房 20周年記念》
家電のある生活展
——暮らしのデザインミュージアム 2017

9.18 (月・祝) → 10.15 (日)
月曜休み (9.18、10.9の祝日はのぞく)
11:00～19:00 **入場無料**
会場：ワークショップルームA・B
生活工房ギャラリー

家電製品は、それぞれの時代を象徴するアイテムのひとつです。その変遷をたどりながら、私たちの生活の豊かさを再認識し、これからのライフスタイルを探る展覧会です。



1950年代「三種の神器」と呼ばれた家電製品たち

電気自動車はライフスタイルをどう変えていくのか？ **トークイベント**

9.23 (土・祝) 14:30～16:00 会場：ワークショップルームA

私たちの生活と自動車との関係性はどのように変化していくのでしょうか。近い未来の生活を支えるパーソナルモビリティについて、お話を伺います。

講師 館内端 (自動車評論家／日本EVクラブ代表)
進行 武正秀治 (プロダクトデザイナー／多摩美術大学教授)
参加費 500円／40名 (申込先着) 申込 電話かメールにて

ご飯をめぐる“美味しい”のデザイン
～最新炊飯器にみる家電の進化 **トークイベント**

9.30 (土) 14:30～16:00
会場：ワークショップルームA

日本人の食生活に欠かせない炊飯器は、時代にあわせて新たな機能を開発し、進化し続けています。製品の開発者を迎えて、最新技術についてお話を伺います。



講師 和泉修社 (タイガー魔法瓶株式会社 ソリューショングループ みらい研究所)、
渡辺正弘 (タイガー魔法瓶株式会社 ソリューショングループ デザインチーム)
進行 武正秀治 (プロダクトデザイナー／多摩美術大学教授)
参加費 500円／40名 (申込先着) 申込 電話かメールにて

パオフェスタ2017 市民活動体験喫茶パオ

10.21 (土) | 10.22 (日) 11:00～18:00 **入場無料**
会場：市民活動支援コーナー

市民活動支援コーナー登録団体の活動を、各団体が企画した体験コーナーやパネル展示などで紹介する喫茶スペースです。



穴アーカイブ：an-archive
世田谷の
8ミリフィルムにさぐる

10.21 (土) → 11.5 (日)
9:00～20:00 **入場無料**
会場：生活工房ギャラリー
企画制作：remo [NPO 法人記録と表現とメディアのための組織]

昭和30～50年代にかけて、世田谷の人々の暮らしを記録した8ミリフィルム。穴アーカイブは、そんな映像メディアに着目して、2015年から8ミリフィルムのアーカイブに取り組んでいます。本展では、これまでにデジタル化した約80点の映像をすべてご紹介するとともに、記録を残すこと／残さないことを通して、私たちの暮らしとアーカイブについて考えます。



昭和45年の野沢銀座

8ミリフィルム鑑賞会 vol.3

11.3 (金・祝) 14:00～15:30 会場：ワークショップルームB

昭和10年代の鉄橋工事、昭和35年の臨海学校、同年に撮影された東京見物など、本年度デジタル化した8ミリフィルムを初上映します。また鑑賞会終了後には、東京オリンピックが開催された1964年の映像や、戦前の8ミリフィルムなども会場でご覧になります。

参加費 無料 申込 不要、直接会場へ

クライム・エブリ・マウンテン vol.1
「ミャオ族の刺繍と暮らし」展

11.11 (土) → 12.10 (日) 月曜休み
11:00～19:00 **入場無料**
会場：ワークショップルームB／生活工房ギャラリー
特別協力：苗族刺繍博物館

中国の貴州省に多く暮らすミャオ族の民族衣装には、緻密な刺繍が施されており、そのひとつひとつにミャオ族の思想や神話が込められています。苗族刺繍博物館より民族衣装など約60点をお借りして展示し、その暮らしについても紹介します。



撮影：西岡渥 (書籍『ミャオ族の刺繍とデザイン』より)

ミャオの刺繍と出合っ **トークイベント**

11.11 (土) 14:00～15:30 会場：ワークショップルームA

約20年間にわたってミャオの人々と交流を重ねながら収集を続けてきた佐藤館長に、その魅力について伺います。現地に設立した禾苗刺繍学校についてもお話いただきます。

講師 佐藤瑞代 (苗族刺繍博物館館長) 参加費 500円／50名 (申込先着)
申込 10月25日 10:00より電話かメールにて

堆繡 (ドイシュウ) 体験教室 **ワークショップ**

12.9 (土) 13:00～16:00 会場：ワークショップルームA

小さな布片を重ねていくことにより、模様を作り出す独特の技法・堆繡。8センチ四方のフレーム作品づくりで体験します。

講師 佐藤瑞代 (苗族刺繍博物館館長) 参加費 2,500円 (材料費込)／20名 (抽選)
申込 11月25日 (必着) までに往復ハガキかメールにて

※そのほかにも関連プログラムを予定しています。詳細は10月中旬に生活工房ホームページでお知らせします。

映像のフィールドワーク・ラボ
vol.2 「こな、ねる、たべる」

11.18 (土) | 25 (土)
各日 10:00～16:30
会場：ワークショップルームA



「ケーキづくり」(ニューギニア／アイボム族)
© (公財) 下中記念財団

20世紀の映像百科事典「エンサイクロペディア・シネマトグラフィカ」の映像群に、生命の根源的な営みを学ぶワークショップシリーズの第2弾。食材をあつめ、すって、ねって、たべる世界各地の映像を観たあとは、その料理を実際によって食べてみましょう！ ※上映会だけのご参加も歓迎です。

企画進行 下中菜穂 (造形作家・もんきり研究家)、丹羽朋子 (文化人類学者)
協力 (公財) 下中記念財団

ワークショップ参加の方

対象 小学生以上で2日間とも参加できる方 参加費 2,500円／20名 (抽選)
申込 11月3日 (必着) までに往復ハガキかメールにて

上映会のみ参加の方

上映時間 各日 10:00～11:00 参加費 各日 500円／各50名 (当日先着)
申込 不要、当日直接会場へ

上映作品 11月18日 (土)：「手廻し臼での穀粒挽き」(北アフリカ アトラス高地／アイト・ハディ族／1970年)、「ヴァデアのトウモロコシ粥料理 “ママリガ”」(ルーマニア／1969年) ほか計7本程度 11月25日 (土)：「マニオクの収穫と晒し、平パン焼き」(ペネズエラ／マキリタレ族／1969年)、「ケーキづくり」(ニューギニア／アイボム族／1966年) ほか計6本程度

第41回世田谷おはなしネットワーク講演会
真鍋真さんと絵本で学ぶ最新恐竜学

11.19 (日) 10:00～12:00 会場：セミナールームA・B

50年ぶりに改訂された絵本「せいめいのれきし」を監修した真鍋真さんをお招きし、恐竜の絵本を中心に図鑑・伝記・物語など、さまざまな角度からその魅力について語っていただきます。

講師 真鍋真 (国立科学博物館 標本資料センター・センター長)
主催 世田谷おはなしネットワーク 参加費 100円／40名 (抽選)
対象 小学生以上 (小学生は保護者同伴)
申込 10月28日 (必着) までに往復ハガキにて



撮影：光斎昇馬

NPO・市民活動のためのステップ・アップ講座
組織づくりのためのヒント／コツを学ぼう!!

第1回「組織づくりに必要なこと」 第2回「活動資金を集めるには」

12.2 (土) 14:00～17:00
会場：セミナールームA・B
講師進行：吳哲煥
(NPO 法人CRファクトリー)

「人材育成」「活動資金」の視点から運営上の課題を解決する方法を学び、団体活動におけるコミュニティづくりの大切さについて考えます。

企画進行 株式会社世田谷社 共催 世田谷区 生活文化部 市民活動・生涯現役推進課
対象 NPOのスタッフ・役員 (中堅者向け) 参加費 各回 1,000円 (1団体から複数参加の場合、2人目から半額)／各30名 (申込先着) 申込 10月25日 10:00より電話かメールにて

※詳細は10月中旬にホームページでお知らせします。

眞田岳彦ディレクション／衣服・祝いのカタチ vol.2
赤をめぐる旅展 祝いの水引結び

12.20 (水) → 2018 2.4 (日)
9:00～20:00 (12.29→1.3は休館) **入場無料** 会場：生活工房ギャラリー

赤い祝いの結び「水引結び」。日本人が「祝い事」に込めた技と美意識について考察する展覧会です。



お正月飾りづくりワークショップ **ワークショップ**

12.28 (木) ① 10:30～12:30 ② 15:00～17:00 (各1回完結)
会場：ワークショップルームA

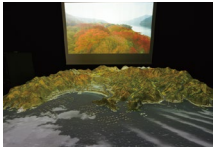
ゆく年への感謝と、新しい年に願いを込めて、自分の手で囀を綯って、水引を飾る注連縄づくりをします。

講師 サナダスタジオ 対象 高校生以上
参加費 2,000円／各回20名 (申込先着)
申込 11月25日 10:00より電話かメールにて

※そのほか、トークイベントを予定しています。詳細は11月に生活工房ホームページでお知らせします。

森・里・海の連環による豊かな海づくり
「レリーフジオラマ」上映会

入場無料
会場：キャロットタワー2F・八角堂



自然の営みと人の関わりを紹介する映像作品 (約5分) を上映します。上映スケジュールや詳細はホームページをご覧ください。

朗読講座 豊かなことばの世界

暮らしを豊かにすることばの世界を「朗読」を通して楽しむ講座です。NHK 日本語センターアナウンサーが、声の出し方、聞き手に伝えるための読み方を丁寧に指導します。

1 水曜講座 (午前・午後) 〈名作を読む〉
11.1 (水) | 8 (水) | 29 (水) | 12.6 (水) 各回 10:30～12:30／13:30～15:30
講師：岩井正 (NHK日本語センター) 作品：亀井勝一郎著『大和古寺風物誌』

2 木曜講座 (午後) 〈はじめての朗読〉
11.2 (木) | 9 (木) | 30 (木) | 12.7 (木) 各回 13:30～15:30
講師：秋山隆 (NHK日本語センター) 作品：平岩弓枝著『花影の花——大石内蔵助の妻』

3 金曜講座 (午後) 〈はじめての朗読〉
11.10 (金) | 17 (金) | 12.1 (金) | 8 (金) 各回 13:30～15:30
講師：金野正人 (NHK日本語センター) 作品：乃南アサ著『青年のお礼』

会場：セミナールームA
受講料 (4回分)：一般 20,500円、せたがやアーツカード会員 18,500円／15名 (申込先着)
問・申込：(一財) NHK放送研修センター
TEL 03-3415-7121 (受付時間 9:00～18:00) HP <http://www.nhk-cti.jp/>



ワークショップ／セミナーの申込方法

●電話 03-5432-1543 ●往復ハガキ／メール [希望イベント名・希望日・住所・氏名・年齢 (学生は学校名・学年も)・電話番号を明記の上、下記宛先まで]
ハガキ：154-0004 世田谷区太子堂 4-1-1 キャロットタワー 生活工房宛
メール：info@setagaya-ldc.net (件名に希望イベント名を明記)